

Event Photo Report 01



荒尾マジック釣り大会

1

第9回荒尾マジック釣り大会は、7月28日(土)、荒尾漁協前の干潟で開催されました。9百人の参加は大会史上最多。関東からも参加者が訪れ、日差しが強く照り返す干潟の中で、大人も子どもも泥にまみれ、マジックと真剣勝負を繰り広げました。

当日は、荒尾干潟がラムサール条約湿地※に指定されたことをくす玉を割って祝いました。マジック釣りの後には天ぷらの試食が準備され、参加者は揚げたてのマジックを頬張り、荒尾干潟の恵みを味わいました。

※特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約(通称「ラムサール条約」)によって安全と賢明な利用をすることが定められている湿地のこと。

1. マジックと真剣勝負。プロの指導を受けながら、じっと筆が動くのを待ちます。2. 干潟はとっても気持ちいいよ! かま(マジックを釣るために掘る浅く広い穴)の中でハイポーズ。3. 約500m先まで、歩いて漁場へ。国内最大級の広さを誇る荒尾干潟ならではの風景がもれません。



2



3

Event Photo Report 02

あらかお荒炎祭



4



5



6

4. 総踊りは、衣装やのぼり旗、プラカードなど参加団体の個性が光りました。5. 会場を包む柔らかな光の大灯籠は、美術協会、球仙書道会、市内中学校美術部、荒尾高校書道部による作品。6. 行灯コンテストで最優秀賞を受賞した(株)荒尾温泉の、龍をかたどった大迫力の山車。7. 力強さと躍動感のあるさのよい踊りは、会場をおおいに湧かせました。

第19回あらかお荒炎祭は8月4日(土)、あらかおシテイモーター駐車場をメイン会場に開催されました。太鼓フェスティバルなどステージイベントに加え、参加者千人による行灯パレードや荒尾のアイドルグループMJJKのデビューステージ、あらかおクイーンコンテストなど、多くの市民が参加する催しで祭りは更に盛り上がりました。行灯パレードは35団体が工夫を凝らした手作りの行灯を披露し、夜の会場を華やかに彩りました。



準あらかおクイーン 松枝三恵さん



7